

個別施設計画

策定年月 H30.1

施設名	津山陸上競技場		所在地	津山市志戸部245	
敷地面積	99,470.00 m ²		棟数	9 棟 (計画記載対象 2 棟)	
延床面積	3,975.22 m ²			※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象	
設置目的	陸上競技その他スポーツを通じて県民の心身の健全な発達を図るために設置。				
【想定される自然災害】					
予想震度	6弱	津波	—	浸水	—
建築規制	非線引都市計画区域 用途地域なし、建ぺい率60%、容積率200%				
エネルギー使用量 (2016年度)	電気 303,173 kwh	ガス 248 m ³	水道 5,653 m ³	燃料 (—) — 0	
管理上の 特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし 敷地は、すべて市有地。				

1 施設内建物の概況

名称	メインスタンド棟	スケート施設棟
築年(西暦)	1994年	1994年
構造	鉄筋コンクリート造 3階	鉄筋コンクリート造 1階
建築面積	1,959.12 m ²	402.75 m ²
延床面積	3,341.79 m ²	402.75 m ²
主要な用途 (室名等)	メインスタンド(5,000人収容) トレーニングルーム 事務室	備品庫 更衣室
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 電力設備(非常用発電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備 給排水設備 消火設備 昇降機	給排水設備
利用状況	高	高
耐震性 ※1	有	有
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	—
	中性化 ※3	—
長期使用の 適否	建物傾斜 ※4	適
	地盤沈下 ※5	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	屋根

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

更新時期を迎えた設備等について更新、修繕、改修を行い使用を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
メインスタンド棟	<ul style="list-style-type: none"> 第2種陸上競技場の公認更新に必要な400mトラック等の改修を行うとともに、観覧席の防水工事を実施する。 設備等の定期更新を実施する。
スケート施設棟	<ul style="list-style-type: none"> 屋根等の修繕を実施する。 設備等の更新、修繕、改修を実施する。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

建築関係では、第2種陸上競技場の公認更新に必要な400mトラックの改修及び観覧席の防水工事をを行う。設備関係は、耐用年数を超過し故障の恐れのある空調設備、防災設備等の更新、改修を計画的に実施する。

(単位: 億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
メインスタンド棟	設備等の大規模改修		400m トラック等 (改修) 2	観覧席防水 1							
	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む。)			場内放送設備			400m トラック等 (改修)				
							外壁塗装				
							誘導灯				
							パッケージエアコン				
							自動火災報知設備				
							トイレの洋式化				
スケート施設棟	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む。)						冷却配管				
							外壁塗装				
							屋根防水				

4. 概算費用

・総額 4億円(設備の大規模改修等)

5. 変更履歴

変更年月	変更内容
R3.1	「施設全体のスケジュール」の設備等の定期更新のスケジュール変更 ・メインスタンド棟(外壁塗装、誘導灯更新、パッケージエアコン更新) ・スケート施設棟(冷却配管修繕、外壁塗装、屋根防水)
R4.1	「施設全体のスケジュール」の設備等の定期更新のスケジュール変更 ・メインスタンド棟(トイレの洋式化、自動火災報知設備更新)